

2022（令和4）年さけます来遊状況（第4報：11/30現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- カラフトマスは奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられており、本年は「偶数年級」にあたる
- 来遊数は26万尾〔前年同期比：34%、2020（令和2）年同期比：5%、平年*1同期比：3%〕、1989（平成元）年以降で最も少ない
- 採卵数は、全道で2,799万粒と計画数の18%にとどまる

*1：平年とは、1989（平成元）～2020（令和2）年の偶数年の平均値

本年度の北海道カラフトマス来遊数は26万尾〔前年同期比：34%、2020（令和2）年同期比：5%、平年同期比：3%〕となりました。

カラフトマスは2年で回帰するため、奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられます。本年は偶数年級にあたり、その来遊数は2016（平成28）年以降減少しています。11月30日現在の来遊数26万尾は、両年級群を通じて1989（平成元）年以降で最も少なくなりました（表1および図1）。

表1. カラフトマス来遊数(北海道)

			単位:万尾		
年	11/30現在	最終	年	11/30現在	最終
2009(平成21)	1,111	1,111	2010(平成22)	731	731
2011(平成23)	553	553	2012(平成24)	221	221
2013(平成25)	325	325	2014(平成26)	158	158
2015(平成27)	210	210	2016(平成28)	890	890
2017(平成29)	123	123	2018(平成30)	683	683
2019(令和元)	109	109	2020(令和2)	473	473
2021(令和3)	76	76	2022(令和4)	26	-
			平年	870	870

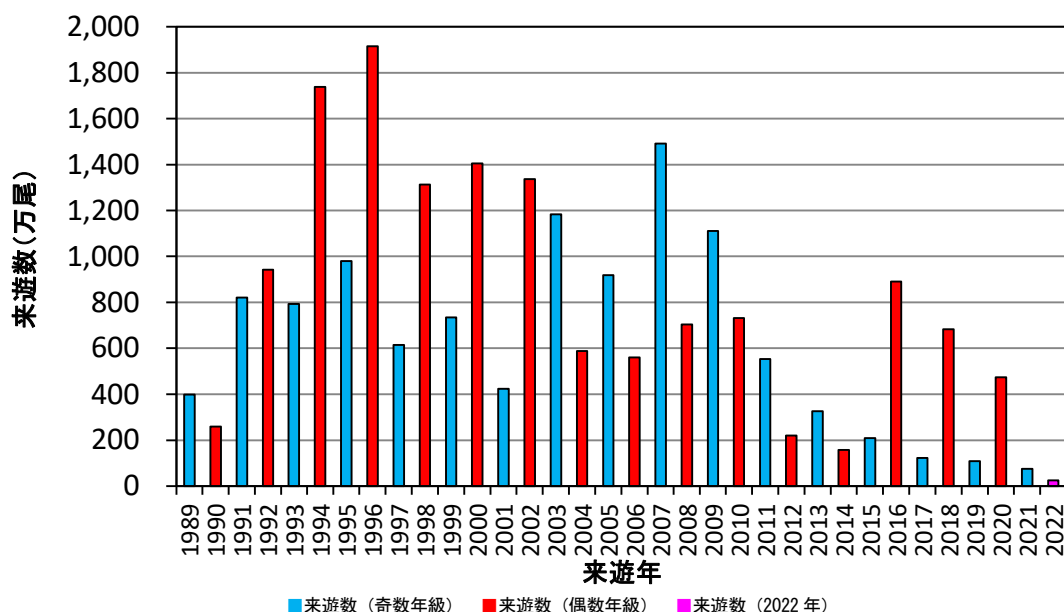


図1. 7月1日～11月30日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2022年は速報値。

来遊数を地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では23万尾〔前年同期比：31%、2020（令和2）年同期比：5%、平年同期比：3%〕、太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では3万尾〔前年同期比：129%、2020（令和2）年同期比：9%、平年同期比：3%〕となりました。日本海側では1989（平成元）年以降で最も少なく、太平洋側では2021（令和3）年に次ぐ2番目に少ない来遊数となりました。

河川捕獲数は、5万尾〔前年同期：24%、2020（令和2）年同期比：7%、平年同期：5%〕と1989（平成元）年以降で最も少なくなりました（表2および図2）。

採卵数については2,799万粒と前年同期の23%にとどまりました。これは2022（令和4）年度の採卵計画数1億5,690万粒の18%にあたり、河川捕獲数が極端に少なかったことが大きく影響しました。

表2. カラフトマス河川捕獲数(北海道)

単位:万尾					
年	11/30現在	最終	年	11/30現在	最終
2009(平成21)	131	131	2010(平成22)	87	87
2011(平成23)	59	59	2012(平成24)	26	26
2013(平成25)	48	48	2014(平成26)	26	26
2015(平成27)	24	24	2016(平成28)	76	76
2017(平成29)	18	18	2018(平成30)	92	92
2019(令和元)	22	22	2020(令和2)	73	73
2021(令和3)	21	21	2022(令和4)	5	-
			平年	97	97

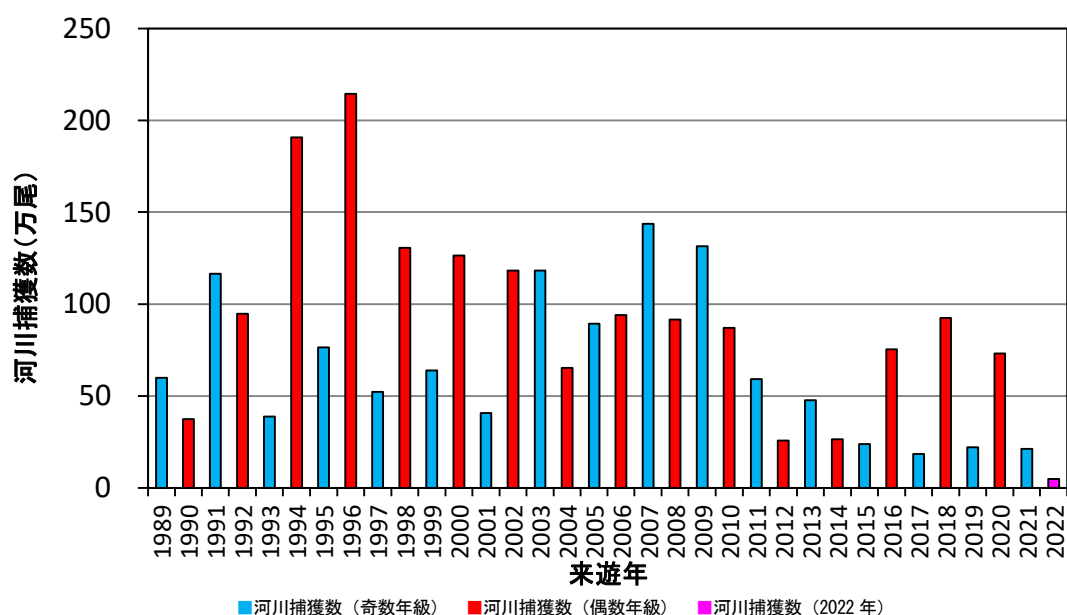


図1. 7月1日～11月30日までのカラフトマス河川捕獲数(累計値). 2022年は速報値.